

令和5年度事業報告書

1 法人の概要

(1) 設置する学校・課程・学科等（令和5年度末現在）

学校法人 嶺南学園

敦賀気比高等学校 全日制課程 普通科

敦賀気比高等学校附属中学校

(2) 生徒定員・入学者・在籍者・卒業生・志願者数

()内は女子数

校・学科		区分	学則定員	募集定員	令和5年度 入学者数	令和5年度 在籍者数 (5/1現在)	令和5年度 卒業生数	令和6年度	
								志願者数	入学者数
高等学校	普通科		250	230	239 (118)	670 (328)	230 (113)	219 (96)	214 (94)
中学校			105	30	16 (9)	63 (38)	21 (14)	19 (14)	17 (13)
総合計			355	260	255 (127)	733 (366)	251 (127)	238 (110)	231 (107)

* 高等学校は附属中進学者を含む。

(3) 役員・教職員（令和6年3月31日現在）

役員（理事9名、監事2名）

理事長 宇野晃成

副理事長 徳本達之

常務理事 刀根 茂

理事 林 雅則 山本恒司 森本 哲

池澤俊之 中村 淳 古谷清和

監事 山形 晃 山本 等

評議員

林 雅則 外18名

教職員数

教員 44名 特任教員 9名 常勤講師 1名 非常勤講師 18名

事務局 8名 特任職員 1名 嘱託 8名

2 事業の概要

(1) 事業の取り組み状況

学校の事業としては、中高一貫教育としての特進コース、中学部の指導の充実、また、進学コースと教養コースを進学コースに統合して2年目となり、特色のある学校づくり

を推進すべく、コースの再編に取り組んだ。

- ① 特別進学コースでは、夜学習(18:00~19:30)、長期休業中の補習、土曜補習、休日に登校し自習できる環境整備を進めた。また、昨今、公立高校で探究活動を主とし、多くの時間を割いているが、本校特進コースにおいては、流行に流されず、各教科の学びを大切に、個の確立と、深く静かに考え学ぶ、学びを大切に、そこに、個別指導を加えることで、本来の学びを重視していくことで差別化を図っている。今後、生徒、保護者のニーズにに応じていくためには、働き方改革の点からも、学園による人員の確保、勤務態勢の確立が必要となってくると思われる。

進学コースは、令和4年度新入生より、進学コースと教養コースを統合し、新進学コースとして再スタートし、一般専攻、中国語専攻、美術専攻、技能開発専攻の4専攻を設定し、各特長を生かし、生徒の希望を尊重しつつ、特色ある学習指導、進路指導を実践した。

また、3年生の教養コースの生徒についてもキャリア教育を充実し、商業系、工業系科目を選択で学び、あわせて情報処理、福祉系科目の基礎を履修可能とし、市内、県内への就職を中心とした面接練習や企業見学等の指導をしながら進路実現を図った。従来は、商業、工業の学びに重きを置いていたが、現在は、Excel、Wordなどの習得も、ひとつの目標として取り組めるようにしている。学校全体で就職希望者は33名おり、前年度の36名(内、公務員3名)からほぼ横ばいであり、企業(ジャクエツ、東洋紡、日本ゼオン、アイケープラス、ハピラインふくい 他)へ31名、公務員(福井県警他)へ2名と全員が内定を得た。

令和4年度より進学コースの成績上位クラスを新たに「進学選抜クラス」として、大学入試において、一般入試や総合選抜入試の受験に対応できる学力の養成に努めることとした。進学選抜クラスでは県模試の全員受験、それに伴い県模試実施直前には、特進同様に県模試対策講座を実施。また、夏休み、冬休み等の長期休業日にも、特進に準じて特別講座(補習)を実施することとし、進路指導の充実も図りながら、大学合格を目指す体制を整備した。

付属中学校については、昨年度、敦賀気比高校付属中学校から特進コースへ進学した内部進学卒業生の半数が、東京大学を初めとした国公立大学に進学。現在、在籍している中学生も2年生で英検2級合格者が5名となっている。また、総合的な学習の時間においても、主体的で対話的な学びの充実を図り、具体的には敦賀市内の小学校の協力を得ながら、ユニクロ企画の難民支援のための衣服のリサイクル活動を行ったり、市内の企業や小売店に協力を依頼し、敦賀市観光マップを作成したり、また、持続的に行なっている中池見湿地での水質調査をしたり、ホテルの生育場所の調査を行ったりと、自分たちでテーマを考え探究し発表する学習活動を実践した。

ICT教育については、1年生は全員がタブレットを所有。2、3年生については特進コースの全生徒がタブレットを所有し、学習支援ソフトの「classi」と「ロイロノート」をインストールして、授業や家庭学習等で活用した。また、進学コースの生徒は全員、学習支援ソフト「スタディサプリ」を使用し、基礎学力の定着に役立てた。非常勤の教員を含め、多くの教員がタブレットを使用した授業を展開するようになった。

部活動については、運動部では、硬式野球部は第96回選抜高等学校野球大会に出場した。この他、全国高校総合体育大会（インターハイ）には、レスリング部、空手道部、剣道部（女子団体）、陸上競技部が出場。全国選抜大会にはレスリング部、男子テニス部、空手道部が出場を果たしている。

部 名	大 会 名 ・ 成 績
駅伝部	令和5年度福井県高等学校駅伝競走大会 男子2位
	令和5年度北信越高等学校陸上競技大会800m 小林 漣 優勝 女子走り幅跳び 寺本 栞那 3位
陸上競技部	全国高校総合体育大会陸上競技 800m 小林 漣 出場 男子走り幅跳び 小俣 尋人 出場 女子走り幅跳び 寺本 栞那 出場
	第96回選抜高等学校野球大会 出場（1回戦 0-1 明豊）
	男子テニス部
レスリング部	第46回全国選抜高校テニス大会 男子団体ベスト32 令和5年度全国選抜高校大会北信越予選 男子団体 準優勝
	全国高等学校総合体育大会レスリング競技 団体 ベスト16 個人対抗戦 男子51kg級 日浦 颯毘 ベスト8
	第59回北信越高等学校レスリング選手権大会 団体 3位 男子個人 51kg級 日浦颯毘 優勝 125kg級 中島武蔵 優勝 女子個人 62kg級 竹中花音 優勝
	2023年全国中学選抜U15選手権大会 52kg級 日浦 璃毘兎 4位
空手道部	令和5年度北信越高等学校総合体育大会空手道競技 団体 形 男子 3位 女子 優勝 個人 形 女子 3位 寺下 心華
	第41回全国高等学校総合体育大会空手道競技 男子個人形 池側 翔哉 出場 女子個人形 寺下心華、道白 彩良 出場
	第37回北信越高等学校空手道新人大会 男子団体3人制組手 優勝
	第41回全国高等学校空手道選抜大会 男子団体3人制組手 出場 男子団体 形 出場
剣道部	令和5年度福井県高等学校総合体育大会剣道競技 男子団体 3位 女子団体 初優勝
	全国高等学校総合体育大会剣道競技 女子団体 初出場
ソフトボール部	令和5年度北信越高等学校ソフトボール選手権 3位
	令和5年度福井県高等学校女子ソフトボール選手権大会 優勝
その他	第16回漢語橋世界中高生中国語コンテスト本選大会 優秀賞 千田 実幸
	第16回漢語橋世界中高生中国語コンテスト日本大会 優秀賞 菖蒲 彩葉
	第71回福井県学校対抗かるた選手権大会 中学の部 付属中学校優勝

発達障害や不登校生徒などへの対応については、近年、特別支援を要する生徒が中学・高校ともに増加傾向にある。教育相談担当を中心に特別支援委員会を、各学期に開催する一方、家庭との連携を図り、生徒の状況に合わせて適宜対応を行った。また、生徒だけでなく、保護者に対しても希望があればカウンセリングを実施している。

月に3回、臨床心理士であるスクールカウンセラーによるカウンセリングを、高校では生徒に対し約30回、保護者に対し23回実施している。不登校等の長期欠席者に対しては、特別委員会を開催し、該当生徒の状況を把握して必要に応じた配慮を行った。令和5年度には6回開催し、対象生徒は10名であった。

- ② 令和4年度に進学コース、教養コースを一本化し、進学コースにまとめることとした。その中に4つの専攻（従来の進学コースにおける「一般専攻」、「中国語専攻」、「美術専攻」と、教養コースで学ぶ商業系の科目か工業系の科目の選択及び、就職において必要とされるExcelとWordを中心に学ぶ情報の科目を中心として学習する「技能開発専攻」）を設けることとした。

また、英語と数学について、週に1時間中学の内容からの学び直しをする時間を設け、わかる授業にすることを目指すこととした。さらに進学コースの中の成績上位者でつくる「進学選抜クラス」を設け、文武両道を基本に大学進学を目指す力を養成するための指導体制を整えることとした。

(2) 生徒募集

令和5年度高校入試ではコースの再編2年目となった。二州地区の中学3年生の生徒数がこの年は多く、定員230名に対し志願者数は241名、合格者は223名であった。これに付属中学からの内部進学者16名を加え239名の入学となった。付属中学校は定員30名に対し志願者16名（内9名が女子）、合格者が16名であった。

令和6年度募集では、オンライン英会話を中心とした国際教育を一つの特長とし、二州地区を中心として周知の徹底を図った。今後は英会話学習を楽しみに入学した生徒をいかに入学して良かったと思ってもらえるように指導するか、特別進学コースへの入学希望者を増やしていくかということが第1の課題である。

(3) 教育環境の整備

- 普通教棟空調改修工事
- プロジェクター、アクセスポイント等設置（書道室、ML教室、保健室等）
- マイクロバス購入
- レスリングマット購入
- 修文寮空調改修工事
- 寮コインランドリー（6台）
- 校門前下水道配管改修工事
- AED設置（第1・第2体育館、グラウンド）